

## 小学部高学年 自立活動 学習指導案

### 解決したい授業力の課題

手指を使う様々な活動に取り組ませることで、手指の動きや微細な動きが必要な動作をする力を身に付けさせる。

1 題材名 「 指先を使って細かな動きをしよう 」

### 2 題材の目標

手指を動かして微細な動きができる力を身に付け、生活動作に結び付けることができる。

### 3 題材の評価規準

思考・判断・表現	関心・意欲・態度	技能	知識・理解
・失敗してもやり直すことができる。	・自分の力で、最後まで課題に取り組むことができる。	・用具を適切に使うことができる。	・用具の持ち方や使い方が分かる。

### 4 題材と指導の構想

#### (1) 題材と児童

##### ① 題材観

本題材では、主に学習指導要領「自立活動」の内容の中から、次の指導内容を受けて設定した。

5 身体の動き (3) 日常生活に必要な基本的動作に関する事 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事
--

担当している児童（以下、本児と記す）は、給食エプロンのボタンはめやボタンはずし、ストロー袋の開閉、スプーン・箸・鉛筆の手掌回内握りなどの動きが上手くできず、困惑する様子が見られる。そこで、これらの指導内容の設定と項目の位置付けにより、生活の中で必要な動作（手指の動き）ができるようにする。そのために、興味関心をもって取り組める素材を使って、段階的に難易度を上げながら、継続的に取り組ませることを通して、手指の力や微細な動きを身に付けることができるようにしていきたい。

このような手指の力を身に付け、動作ができるようになるが、「自分のことは自分です」＝「日常生活の＜自立＞」に向けて欠かせないことであり、生活していく上で必要なことと考える。

また、本児には、次の3点を目標にして学校生活全体を通じて取り組んでいる。

- ・1つ目は、中学生になるまでには、児童が毎日行っている給食当番でのエプロンのボタンはめ・はずしが1つはできるようにすること。
- ・2つ目は、2学期の生活単元学習の路線バスに乗る学習では、職員の身体支援がなくても一人でお金を出し入れして、路線バスに乗ること。
- ・3つ目は、2学期中に一人で自動販売機で飲み物を買うこと。

こうした目標達成のためにも、本児が、意欲的に、最後まであきらめずに、集中して、繰り返し課題に取り組めるような教材を工夫する。

##### ② 児童の実態

本児は、指示理解はほとんどできており、言葉は不明瞭ではあるが、簡単な問い掛けに答

えることができる。また、「おはようございます」「ありがとう」「お願いします」など、その場に応じたあいさつを言うことができる児童である。

#### 【作業的な活動について】

- ・利き手はまだ定まっていないが、時間をかければ集中して行うことができる。

#### 【課題別学習について】

- ・力が必要な作業では左手を使うことが多いが、保護者の希望もあり、右手でフェルトペンをなどを持って絵を描いたり、線をなぞったりするように指導している。
- ・課題に最後まで根気よく取り組むことができる。一つの課題が終わると、「終わりました」と、報告することができるようになってきた。

#### 【日常生活の動きについて】

- ・ゆっくりではあるが、絵カードを用いながら一人で着替えることができる。下着のシャツをズボンの中に入れることができないため、職員の仕上げが必要である。
- ・排泄は、ほぼ自立している。
- ・給食では、4月より箸を使って食べている。正しい持ち方はまだできないものの、箸を動かす動きが大きくなり、食べこぼしが少しずつ減ってきている。

#### 【学習活動全般について】

- ・時間はかかるができることが多く、やり方が分かるとほぼ一人で取り組むことができる。
- ・生活単元学習では、力が弱いために、「雑巾が絞りきれない」「財布の開閉やお金の出し入れに時間がかかる」「調理活動においては、粉がよく混ざらない」などがあり、職員の支援を必要とする場面がある。

## (2) 指導の構想

### ＜活動内容の工夫＞

- ・興味関心をもって活動できるように、せんたくバサミ、ピンセット、コイン、ビーズなどを用いて教材を準備する。
- ・意欲的に学習に取り組むことができるように、「1分間で何個つまめるか」というゲーム的な要素を取り入れる。
- ・ピンセットで物をつまむ学習では、つまむ素材や大きさが段階を追って、少しずつ難しくなるように設定し、無理なく取り組めるようにする。
- ・正しい持ち方やコツを覚えることができるように、職員がモデルを示す。
- ・手指を動かし、微細な動きがより多くできるように、短時間で取り組むことができる課題を、4つ以上用意し、繰り返し練習できるようにする。
- ・見通しをもって活動できるように、スケジュールボードを用いて視覚的に示す。
- ・意欲的に取り組むことができるように、がんばり表にシールを貼るようにする。
- ・「自動販売機で飲み物を買う」という設定で、自動販売機に見立てた自作教材を準備し、コインを出し入する活動を設定する。自作教材には、コインを入れたら、音が鳴る仕掛けをする。

### ＜働き掛けの工夫＞

- ・課題を始める前に正しい持ち方やコツを確認してから取り組ませるようにする。
- ・自信がもてるように、できた時には称賛し、保護者にもがんばっている様子やできたことを伝え、褒められる場面をつくる。

<自作教材について>

本児が、興味をもって活動に取り組めるよう、自動販売機の教材を製作した。



①コイン入れについて

お金を入れたら音が鳴るような仕掛けをする。

②教材について

段ボール箱で作っているため、持ち運びしやすい。机の上に置いて座った状態でコイン入れをしたり、高めに設置して手を伸ばしたり、視線を上げたりしながらコインを入れる練習をする。

○コインについて

1学期は、机の上に横に5枚並んでいる状態から1枚ずつ机の淵に手繰り寄せ、つまんだり握ったりする練習をした。

2学期は、コインをケースの中に入れての状態にし、指をケースの中に入れて、1枚ずつ落とさずに取り出すことから始める。また、コインから実生活へ結び付けられるように本物の硬貨を使用するようにしていく。

ケースの中からの出し入れがスムーズにできるようになったら、本児が使用しているお財布入れにお金を入れて、お財布からの出し入れができるようにしていく。

○自動販売機の設定について

初めは、机の上に自動販売機を置き、本児が座った状態でコイン入れを行う。動きに慣れてきたら、高い位置に自動販売機を置き、本児は立った状態でコイン入れを行う。その際、コインの出し入れ口を注視し、指先に集中しながらコイン入れが行えるよう支援したい。注視して物を見ることや、指先に集中することは、目標としているボタンはめにもつながっていくものと考えられる。

5 題材の指導計画（全92時間 1単位30分）

※ピンセットつまみと下線を付けた活動は、重点をおいて行う。

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評価				評価規準
		関	考	技	知	
1次	○手指を動かすことができる。（35時間） 1 はじめのあいさつをする。 2 <u>ビーズ入れ</u> 3 <u>ピンセットつまみ（スポンジ使用）（大から小へ）</u> 4 せんたくバサミ（5本） 5 コイン入れ 6 ぬりえ（一人で課題に取り組む） 7 なぞり（一人で課題に取り組む） 8 がんばり表のシール貼り 9 終わりのあいさつをする。	○	○	○	○	・ <u>こぼさずに、ビーズを容器に移し替えることができる。</u> ・ 1分間で30個スポンジをつまむことができる。
2次	○手指を動かす、固いものをつまむことができる。（35時間） 1 はじめのあいさつをする。 2 ビーズ入れ 3 <u>ピンセットつまみ（落花生）</u>	○	○	○	○	・ <u>コインを落とさずに入れることができる。</u> ・ <u>落花生を落とさずに、つまむことができる。</u>

	4 せんたくバサミ (10本) 5 <u>自動販売機のコイン入れ</u> 6 ぬりえ (一人で課題に取り組む) 7 なぞりや数プリント (一人で課題に取り組む) 8 終わりのあいさつをする。					
3 次	○手指を動かし、小さいものをつまむことができる。(22時間) 1 はじめのあいさつをする。 2 <b>ピンセットつまみ (ビーズ) (大から小へ)</b> 3 ビーズ通し (5~10個) 4 <u>ボタンはめ・はずし</u> 5 なぞりや数プリント (一人で課題に取り組む) 6 終わりのあいさつをする。	○	○	○	○	・ <u>一人で、1、2個のボタンのはめ・はずしができる。</u> ・ <b>ビーズを落とさずに、容器に移し替えることができる。</b>

## 6 本時の学習 (全 70 時間, 本時 45 時間目)

### (1) 本時のねらい

○集中して最後まで課題に取り組むことができる。

### (2) 本時の構想

本児は、これまでの学習の中で、活動に見通しをもち集中して取り組むことができるようになってきた。短時間で取り組むことができる課題を繰り返し行うことで、飽きずに、様々な手指の動きに取り組むようになってきた。また、ぬり絵では、力を入れて塗りつぶすことができるようになってきた。本時では、最初に、スケジュールボードを見ながら学習内容を確認し、見通しをもって取り組むことができるようにする。用具の正しい持ち方のモデルを示しながら確認をするようにする。課題に取り組んでからは、様子を見守り、困っている様子が見られたら、適宜言葉掛けをしたり、身体的支援をしたりするようにする。集中して最後まで課題に取り組んだり、めあてを達成したりした時には、称賛するようにする。手指を動かし、様々な動きに取り組みながら、最後まで集中して課題に取り組む姿を期待している。

(3) 本時の展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童の反応	■評価・○留意点
1 始まりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔を上げて目を合わせながら、マカトンサインを入れてあいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机の位置を直し、かごを準備してから始める。</li> </ul>
2 本時の活動を確認する。 ・活動内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって取り組むことができるように、活動内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールボードを準備する。</li> </ul>
3 ①ビーズ入れをする。 ・ビーズを入れる瓶のふたを開ける。 ・介助皿からビーズをすくって、瓶の中に入れる。 ・「おわりました」と報告をする。 ・瓶のふたを閉める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しくスプーンが持てるように、目印のシールを基に手の位置を確認する。</li> <li>その時の様子に応じて助言や見守りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑り止めマット、ビーズ、スプーン、介助皿、ガラス瓶を準備する。</li> <li>■ビーズをこぼさずに瓶の中に入れることができる。</li> </ul>
4 ②ピンセットつまみをする。 ・落花生をつまんで、左から右側のお皿に移し替える。 ・つまんだ数をシートにスタンプを押す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しくピンセットが持てるように、目印のシールを基に持ち方を確認する。</li> <li>つまんだ数を一緒に数え、スタンプを押す際にも一緒に数えながら押す。</li> <li>助言や称賛をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お皿2枚、ピンセット、落花生、ストップウォッチ、シート、スタンプ</li> <li>■1分間で、落花生を20個以上つまむことができる。</li> </ul>
5 ③せんたくバサミはさみをする。 ・シールの位置にせんたくバサミをはさむ。 ・「おわりました」と報告をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>せんたくバサミの持ち方を確認する。</li> <li>指の力の入れ方やスムーズに行えたことなど、称賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>せんたくバサミ、シート</li> <li>■正しい持ち方で、せんたくバサミをはさんだり外したりすることができる。</li> </ul>
6 ④自動販売機のコイン入れをする。 ・財布の中からお金を取り出して、コイン入れに一枚ずつ入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指先を使って出し入れすることを確認する。</li> <li>実生活とのかかわりを意識できるように、本物の硬貨を使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動販売機、お金</li> <li>■指先を使ってお金を出し入れすることができる。</li> </ul>
7 ⑤ぬりえ（一人課題）をする。 ・りんごを好きな色で塗る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗り残しがないよう、力を入れて塗るように言葉掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント、彩色用具</li> <li>■塗り残しなくりんごの枠内を塗ることができる。</li> </ul>
8 ⑥なぞり（一人課題）をする。 ・線なぞり、名前なぞり、数なぞりをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェルトペンを正しく持つこと、線をよく見てなぞるように言葉掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぞりシート、フェルトペン</li> </ul>
9 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>良かった点やがんばったことなどを具体的に称賛する。</li> <li>顔を上げて目を合わせながら、マカトンサインを入れてあいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かごを片付け、机の位置を直すようにする。</li> </ul>

(4) 本時の評価

○集中して、最後まで課題に取り組むことができたか。